

令和2年度

医学科授業計画

医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものでなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい。

【開学の祖 ポンペ ファン メールデルフォールトの言葉】

長崎大学医学部医学科

目 次

はじめに	1
アクセシビリティ	2
試験成績の発表	2
追試験に関する取扱い	3
共用試験の判定基準に関する申合せ	4
医学部カリキュラムの概要	6
学年・学期別の試験科目一覧	11
平成23年度以前入学者の科目の読替え表	13
平成24～27年度入学者の科目の読替え表	14
長崎大学ナンバリング・システムについて	16
医学部医学科のディプロマポリシーにおける領域ごとの達成レベル	18
学年・学期別授業計画	
1年次授業計画	19
2年次授業計画	61
3年次授業計画	103
4年次授業計画	160
5年次授業計画	230
6年次授業計画	235

科目別目次

1年次科目

授業時間割	19
医と社会Ⅰ	20
生体分子系	23
人体構造系Ⅰ	27
発生・組織系	31
内臓機能・体液系Ⅰ	35
プレリサーチセミナー	39
地域医療ゼミ	41
熱帯医学ゼミ	45
国際医療ゼミ	46
医学ゼミ	47
医学英語	49
学部モジュール科目	51

(医科生物学入門、Communication Skill in English、
医学史・原爆医学と長崎、医学統計学)

2年次科目

授業時間割	61
医と社会Ⅱ	63
人体構造系Ⅱ	67
神経・感覚器系	70
動物性機能系	74
内臓機能・体液系Ⅱ	78
分子遺伝系	81
感染系	84
免疫系	88
腫瘍系	91
放射線基礎医学	94
プレリサーチセミナー	97
国際医療ゼミ	98
医学ゼミ	99
医学英語	101

3年次科目

授業時間割	103
医と社会Ⅲ	104
病理総論系	107
基礎医学TBL	109
薬理系	111
血液・リンパ系	114
循環器系	117
呼吸器系	121
感染症系	125
腎泌尿器系	129
内分泌・代謝・栄養系	132
消化器系	136
運動系	140
生殖系	144

放射線医学	148
臨床検査医学	150
プレリサーチセミナー	153
リサーチセミナー	154
医学ゼミ	156
医学英語	158

4年次科目

授業時間割	160
医と社会Ⅳ	161
人体構造系Ⅲ	164
精神系	167
免疫・アレルギー疾患系	170
脳・神経系	173
皮膚系	177
視覚系	180
耳鼻咽喉口腔系	183
小児系	186
衛生学・分子疫学	189
公衆衛生学	192
地域医療学	194
法医学系	197
診断学	199
外科治療学	205
臨床疫学・医療情報学	209
臨床薬理学	212
東洋医学	214
総合病理学	217
臨床推論PBL	220
臨床実習	221
リサーチセミナー	222
医学ゼミ	224
アドバンストリサーチセミナー	226
医学英語	228

5年次科目

授業時間割	230
臨床実習	231
高次臨床実習	232
アドバンストリサーチセミナー	233

6年次科目

授業時間割	235
高次臨床実習	236
アドバンストリサーチセミナー	237
臨床総括講義(卒前集中講義)	239

はじめに

長崎大学医学部医学科では「大学教育における基本的教養と専門の基盤となる幅広い知識を修得させるとともに、医学に関する高度の専門的知識を修得させ、自立性と社会性を身につけた医師及び科学的創造性をもった医学者を育成すること」を教育目標としております（医学部規程第2条）。

この目標達成のために学科教育では、

- 1) 医学医療の知識と総合的理解（医学を学ぶ）
- 2) 科学性及び医学的創造性の養成（科学を学ぶ）
- 3) 医師としての社会的責任感及び自立性の確立（人間を学ぶ）

を図ることを重視し、この3点をバランスよく併せ持ったカリキュラムが実施されています。一般教育（全学教育）と専門教育を楔形に合わせた6年一貫教育形態が取り入れられており、平成10年度と平成14年度の改訂を経て、その概要は次頁以下に示した通りです。

医学医療の知識の修得と総合的理解の点では基礎医学から臨床医学へと展開していく医学教育の順次性を重視した年次別の授業科目が開設されています。即ち、1年次では2年次以降に学ぶ教科の基盤作りが行えるように、「医科生物学入門」をはじめとする医学の基礎科目が開講されます。2年次では人体の構造、生理機能をさらに詳細にかつ統合的に理解し医学の基礎作りが行えるように、3・4年次においては疾患の発生機序、病態の理解を基に診断、治療、予防の原理の理解へと進み、5・6年次でそれまでに得られた知識を臨床実習や臨床総括講義を通してより実戦的なものとして整理体系づけると共に、診療に必要な思考力、判断力及び技術を養成できるように授業科目が配置されています。

特に4年次からは「Problem-based learning (PBL)」が導入され自己問題解決能力の向上を図ると共に、4・5年次の各科ローテーションを軸とする「臨床実習」と5・6年次の選択必修となる「高次臨床実習」を通して、より現場に即した実習内容が提供されることになっています。また、長崎大学医学部のユニークな授業科目として1年次には「医学史・原爆医学と長崎」が、3年次には「熱帯医学」と「感染症学」を融合させた「感染症系」が設けられています。さらに、4・5年次の「臨床実習」では「離島実習」があり、実際に五島列島などでの離島医療の現場に接していただきます。それらによって、長崎の歴史と地域性に根ざした上で、日本の医療が担うべき国際的な立場の認識、さらにこれからの社会において必要と思われる医師、医学者の国際的感覚をも養っていただくことが期待されています。

科学性及び医学的創造性の養成については、各教科の授業でも当然行われますが、学生の科学的好奇心の喚起、科学的創造性の育成を図って、3年次に10週間の「リサーチセミナー」の期間が設けられています。この期間は医学部基礎系研究室と熱帯医学研究所の各部門で、各自が選択した研究テーマについて終日研究活動に従事することになります。また、平成14年度からの新カリキュラムでは必修選択科目の少人数教育「医学ゼミ」が開始され、特定の分野を深く学ぶことが可能になります。また、6年次の最終講義として卒前集中講義を設けました。

医学教育においては早い時期での医療への接触が大切だとされています。それを踏まえて、「医と社会」が設けられ、そこでは病院体験や看護体験実習での医療現場への参加や、今日的医療テーマについて専門教員を交えての討論の機会が用意されています。

さらに2・3年次の「医と社会」では、医学・医療の社会に入り自立する為の精神的基盤作りを図れるように医の倫理、医療心理学、医学・医療社会問題等について学習します。一方、4～6年次での臨床実習では、実戦的な知識・技術を身に付けるばかりでなく、多くの患者さんに接することによって職業的使命感を養っていただくことが期待されています。

最初に述べた本医学部医学科の教育目標を十分に理解し、“医学を学び”、“科学を学び”、“人間を学び”自立性と社会性を身に付けた医師、科学的創造性を持った医学者に育ていただくことを切望します。

アクセシビリティ

長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。

アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先

(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948

(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp

試験成績の発表

専門の成績（可否）については掲示にてお知らせします。

成績結果に疑義がある場合は、成績発表後、1週間以内に学務課へ問い合わせてください。

また、評価については、年度末にお知らせします。

追試験に関する取扱い

平成25年12月18日
医学科会議決定
平成30年 9月19日
一部改正

長崎大学医学部規程第14条の規定に基づく追試験の取扱いは、下記のとおりとする。

1. 病気その他やむを得ない理由により専門教育科目の定期試験を受けることができなかった者に対し、教務委員会において審議し、追試験を行うことがある。病気その他やむを得ない理由とは、次の各号のいずれかに該当する場合をいう。

- (1) 病気又は負傷により入院加療を要する場合（医師の診断書の提出を要する）
- (2) 学校保健安全法施行規則第十八条に定められた感染性の疾患に該当する場合（医師の診断書の提出を要する）
- (3) 忌引の場合（会葬御礼のカード等の提出を要する）
- (4) 交通機関の事故・不通の場合（証明できる書類の提出を要する）
- (5) その他、教務委員会が正当と認める理由である場合

対象となるものは、定期試験実施後、すみやかに上記証明書を添えて追試験願を提出しなければならない。

2. 本人の不注意（寝過ぎ、時間割誤認など）によるものについては、追試験は認められない。また教務委員会での審査にて、定期試験が受験可能であったと判断されるものについては、追試験を許可しない。

3. 追試験を受けようとする者は、担当教員の指定する日時に追試験を受験しなければならない。

4. 当該授業科目の追試験は1回限りとする。

5. 追試験の評価は科目責任者の判断にて減点される場合がある。

6. 尚、専門科目の定期試験以外の試験はこの申し合わせ事項を適応せず、追試験実施の有無は各科目責任者の判断によるものとする。

共用試験の判定基準に関する申合せ

〔平成 31 年 4 月 17 日〕
医 学 科 会 議 決 定

共用試験の判定基準について、下記のとおり申し合わせる。

記

- 第 1 共用試験の合格の判定は、CBT 及び OSCE の両方に合格した者に対し行う。
- 第 2 共用試験を不合格と判定された者は、翌年度 4 年次科目の臨床推論 PBL、診断学を聴講の上、CBT 及び OSCE の両方を受験しなければならない。
- 2 前項の科目について、各授業を行った時数の 3 分の 1 を超えて欠席した者に対しては、CBT 及び OSCE の受験資格を認めない。
- 3 第 1 項の科目を除く 4 年次科目の聴講については、学生からの申出により、各科目責任者が判断する。
- 第 3 CBT 本試験の評価については、年度毎に別途通知する能力値（以下 IRT 値）以上をもって合格とし、当該 IRT 値未満の場合には再試験を行う。なお、追・再試験の評価についても、当該 IRT 値以上をもって合格とする。
- 第 4 OSCE 本試験の評価については、すべてのステーションで 60 点以上を取得することをもって合格とし、60 点未満のステーションがあった場合には、当該ステーションについて再試験を行う。なお、追・再試験の評価についても、60 点以上を合格とする。
- 第 5 共用試験の本試験及び追・再試験において、病気、忌引、その他特段の事情なく欠席又は遅刻した者は不合格とする。
- 2 前項の規定により、本試験を不合格となった者は追・再試験の対象としない。

附 則

この申合せは、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 23 年 11 月 16 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 27 年 8 月 5 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 28 年 1 月 6 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 29 年 11 月 22 日から施行する。

附 則

- 1 この申合せは、平成 31 年 4 月 17 日から施行し、平成 31 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 31 年 3 月 31 日現在医学部医学科に在籍している者及び平成 31 年度において第 2 年次に編入学する者についても、改正後の本申合せの規定を適用する。

医学部カリキュラムの概要 (1~3年次生)

(平成30年度以降入学者用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
<p>医と社会I</p> <p><u>正常構造と機能</u></p> <p>生体分子系</p> <p>人体構造系I</p> <p>発生・組織系</p> <p>内臓機能・体液系 I</p>		<p>医と社会II</p> <p><u>正常構造と機能</u></p> <p>人体構造系II</p> <p>神経・感覚器系</p> <p>動物性機能系</p> <p>内臓機能・体液系 II</p> <p><u>疾患総論</u></p> <p>感染系</p> <p>免疫系</p> <p>腫瘍系</p> <p>放射線基礎医学</p>		<p>医と社会III</p> <p><u>疾患総論</u></p> <p>病理総論系</p> <p>基礎医学TBL</p> <p>薬理系</p> <p><u>疾患各論</u></p> <p>血液・リンパ系</p> <p>循環器系</p> <p>呼吸器系</p> <p>感染症系</p> <p>腎泌尿器系</p> <p>内分泌・代謝・栄養系</p> <p>消化器系</p> <p>運動系</p> <p>生殖系</p>		<p>医と社会IV</p> <p><u>正常構造と機能</u></p> <p>人体構造系III</p> <p><u>疾患各論</u></p> <p>精神系</p> <p>免疫・アレルギー系</p> <p>脳・神経系</p> <p>皮膚系</p> <p>視覚系</p> <p>耳鼻咽喉口腔系</p> <p>小児系</p>		<p><u>臨床実習</u></p> <p>臨床実習</p> <p>高次臨床実習I</p>		<p><u>臨床実習</u></p> <p>高次臨床実習II</p>		<p>卒業試験</p>	
<p><u>学部モジュール</u></p> <p>医科生物学入門</p> <p>医学史・原爆医学と長崎</p> <p>Communication Skill in English</p>				<p><u>診療の基本</u></p> <p>放射線医学</p> <p><u>基礎研究実習</u></p> <p>臨床検査医学</p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>		<p><u>医学・医療と社会</u></p> <p>衛生学・分子疫学</p> <p>公衆衛生学</p> <p>地域医療学</p> <p>法医学系</p> <p><u>診療の基本</u></p> <p>診断学</p> <p>外科治療学</p> <p>臨床疫学・医療情報学</p> <p>臨床薬理学</p> <p>東洋医学</p> <p>総合病理学</p> <p>臨床推論PBL</p> <p><u>臨床実習</u></p> <p>臨床実習</p>							
		<p>教養教育</p>											
<p>医学総合セミナー</p>													
<p>医学英語</p>													

医学部カリキュラムの概要 (3~4年次生)

(平成28年度以降入学者用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
<p>医と社会I</p> <p><u>正常構造と機能</u></p> <p>生体分子系 人体構造系I 発生・組織系 内臓機能・体液系 I</p>		<p>医と社会II</p> <p><u>正常構造と機能</u></p> <p>人体構造系II 神経・感覚器系 動物性機能系 内臓機能・体液系 II</p> <p><u>疾患総論</u></p> <p>感染系 免疫系 腫瘍系 環境因子系</p>		<p>医と社会III</p> <p><u>疾患総論</u></p> <p>病理総論系 基礎医学TBL 薬理系</p> <p><u>疾患各論</u></p> <p>血液・リンパ系 循環器系 呼吸器系 感染症系 腎泌尿器系</p> <p><u>診療の基本</u></p> <p>放射線医学</p> <p><u>基礎研究実習</u></p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>		<p>医と社会IV</p> <p><u>正常構造と機能</u></p> <p>人体構造系III</p> <p><u>疾患各論</u></p> <p>精神系 免疫・アレルギー系 脳・神経系 皮膚系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 小児系</p> <p><u>医学・医療と社会</u></p> <p>衛生学・分子疫学 公衆衛生学 地域医療学</p> <p><u>診療の基本</u></p> <p>診断学 外科治療学 臨床疫学・医療情報学 臨床薬理学 東洋医学 総合病理学 臨床推論PBL</p> <p><u>臨床実習</u></p> <p>臨床実習</p>		<p><u>臨床実習</u></p> <p>臨床実習 高次臨床実習I</p>		<p><u>臨床実習</u></p> <p>高次臨床実習II</p>		<p>卒業試験</p>	
<p><u>学部モジュール</u></p> <p>医科生物学入門 医学史・原爆医学と長崎 Communication Skill in English</p>		<p>医学統計学</p>		<p>臨床検査医学</p>		<p>法医学系</p>		<p>教養教育</p>					
<p>医学総合セミナー</p> <p>医学英語</p>													

医学部カリキュラムの概要 (5年次生)

(平成27年度以降入学者用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<p>医と社会I</p> <p style="text-align: center;"><u>入門科目</u></p> <p>人間生物学</p> <p style="text-align: center;"><u>正常構造と機能</u></p> <p>生体分子系</p>	<p>人体構造系I 分子遺伝系 神経・感覚器系I 発生・組織系I 内臓機能・体液系I</p>	<p>医と社会II</p> <p style="text-align: center;"><u>正常構造と機能</u></p> <p>人体構造系II 発生・組織系II 動物性機能系 内臓機能・体液系II</p> <p style="text-align: center;"><u>疾患総論</u></p> <p>感染系 免疫系 病理総論系 腫瘍系 基礎医学TBL</p>	<p>医と社会III</p> <p style="text-align: center;"><u>疾患総論</u></p> <p>環境因子系 薬理系I 病理各論系I</p> <p style="text-align: center;"><u>疾患各論</u></p> <p>循環器系 呼吸器系 消化器系 感染症系</p> <p style="text-align: center;"><u>診療の基本</u></p> <p>臨床医学TBL I</p>	<p>薬理系II 病理各論系II</p> <p style="text-align: center;"><u>疾患各論</u></p> <p>血液・リンパ系 内分泌・代謝・栄養系 免疫・アレルギー疾患系 腎泌尿器系 生殖系 小児系</p> <p style="text-align: center;"><u>診療の基本</u></p> <p>放射線医学 臨床医学TBL II</p> <p style="text-align: center;"><u>基礎研究実習</u></p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>	<p>医と社会IV</p> <p style="text-align: center;"><u>正常構造と機能</u></p> <p>人体構造系III</p> <p style="text-align: center;"><u>疾患総論</u></p> <p>薬理系III 病理各論系III</p> <p style="text-align: center;"><u>疾患各論</u></p> <p>精神系 脳・神経系 皮膚系 運動系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系</p> <p style="text-align: center;"><u>医学・医療と社会</u></p> <p>衛生学・分子疫学 公衆衛生学</p> <p style="text-align: center;"><u>診療の基本</u></p> <p>外科治療学 臨床医学TBL III</p> <p style="text-align: center;"><u>臨床実習</u></p> <p>臨床実習 I</p>	<p style="text-align: center;"><u>臨床実習</u></p> <p>臨床実習 II 高次臨床実習I</p>	<p style="text-align: center;"><u>診療の基本</u></p> <p>臨床総括講義</p> <p style="text-align: center;"><u>臨床実習</u></p> <p>高次臨床実習II</p>	<p style="text-align: center;">卒業試験</p>			
学部モジュール		学部モジュール		学部モジュール		学部モジュール		学部モジュール		学部モジュール	
<p>細胞生物学</p> <p>医学史・原爆医学と長崎</p> <p>医学統計学</p>		<p>細胞生物学</p> <p>医学史・原爆医学と長崎</p> <p>医学統計学</p>		<p>細胞生物学</p> <p>医学史・原爆医学と長崎</p> <p>医学統計学</p>		<p>細胞生物学</p> <p>医学史・原爆医学と長崎</p> <p>医学統計学</p>		<p>細胞生物学</p> <p>医学史・原爆医学と長崎</p> <p>医学統計学</p>		<p>細胞生物学</p> <p>医学史・原爆医学と長崎</p> <p>医学統計学</p>	
教養教育		教養教育		教養教育		教養教育		教養教育		教養教育	
医学総合セミナー											
医学英語											

医学部カリキュラムの概要(学士2年前期編入学)

(平成29年度以降2年次編入学生適用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
		医と社会II <u>正常構造と機能</u> 生体分子系 人体構造系I 発生・組織系 人体構造系II 内臓機能・体液系 I 神経・感覚器系 動物性機能系 内臓機能・体液系 II <u>疾患総論</u> 感染系 免疫系 腫瘍系 環境因子系		医と社会III <u>疾患総論</u> 病理総論系 基礎医学TBL 薬理系 <u>疾患各論</u> 血液・リンパ系 循環器系 呼吸器系 感染症系 腎泌尿器系 <u>診療の基本</u> 放射線医学 <u>基礎研究実習</u> リサーチセミナー (発表会は4年次)		医と社会IV <u>正常構造と機能</u> 人体構造系III <u>疾患各論</u> 精神系 免疫・アレルギー系 脳・神経系 皮膚系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 小児系 <u>医学・医療と社会</u> 衛生学・分子疫学 公衆衛生学 地域医療学 <u>診療の基本</u> 診断学 外科治療学 臨床疫学・医療情報学 臨床薬理学 東洋医学 総合病理学 臨床推論PBL <u>臨床実習</u> 臨床実習		<u>臨床実習</u> 臨床実習 高次臨床実習I		<u>臨床実習</u> 高次臨床実習II		卒業試験	
		医学総合セミナー											
		医学英語											

学年・学期別の試験科目一覧（一般学生用）

学 年	前 期 末 試 験 期 間	後 期 末 試 験 期 間
1年次		生体分子系 人体構造系Ⅰ 発生・組織系 内臓機能・体液系Ⅰ
2年次	神経・感覚器系 人体構造系Ⅱ 動物性機能系	分子遺伝系 感染系 免疫系 腫瘍系 放射線基礎医学
3年次	病理総論系 放射線医学 循環器系 血液・リンパ系 腎泌尿器系 感染症系 呼吸器系 薬理系	生殖系 運動系 臨床検査医学 内分泌・代謝・栄養系 消化器系
4年次	人体構造系Ⅲ 精神系 免疫・アレルギー疾患系 脳・神経系 皮膚系 運動系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 小児系 衛生学・分子疫学 公衆衛生学 地域医療学	法医学系 診断学 外科治療学 東洋医学
5年次		
6年次	卒業試験	

学年・学期別の試験科目一覧（学士編入学者用）

学 年	前 期 末 試 験 期 間	後 期 末 試 験 期 間
2 年次	神経・感覚器系 人体構造系Ⅱ 動物性機能系	生体分子系 分子遺伝系 内臓機能・体液系Ⅰ 発生・組織系 感染系 免疫系 腫瘍系 放射線基礎医学
3 年次	病理総論系 放射線医学 循環器系 血液・リンパ系 腎泌尿器系 感染症系 呼吸器系 薬理系	生殖系 運動系 臨床検査医学 内分泌・代謝・栄養系 消化器系
4 年次	人体構造系Ⅲ 精神系 免疫・アレルギー疾患系 脳・神経系 皮膚系 運動系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 小児系 衛生学・分子疫学 公衆衛生学 地域医療学	法医学系 診断学 外科治療学 東洋医学
5 年次		
6 年次	卒業試験	

平成23年度以前入学者の科目の読替え表

平成23(2011)年度以前入学者カリキュラム科目				
開講年次	科目区分	科目	受講学期	旧カリ単位数
1年	医と社会	医と社会	1前	7.5
2年	医と社会	医と社会	2後	
3年	医と社会	医と社会	3前・後	
4年	医と社会	医と社会	4前	
1年	入門科目	人間生物学	1前・後	4.0
1年	入門科目	細胞生物学	1前	1.0
1年	入門科目	原爆医学概論	1前	0.5
1年	入門科目	医学は長崎から	1前	0.5
1年	入門科目	医学統計学	1後	1.0
1年	入門科目	生物化学	1後	1.0
1年	入門科目	生物・化学実習	1後	2.0
1年	正常構造と機能	人体構造系	1後	6.5
2年	正常構造と機能	人体構造系	2前	
2年	正常構造と機能	生体分子系	2前	2.5
2年	正常構造と機能	分子遺伝系	2前	2.0
2年	正常構造と機能	神経・感覚器系	2後	2.0
2年	正常構造と機能	発生・組織系	2後	3.0
2年	正常構造と機能	動物性機能系	2後	2.5
2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系	2前・後	3.5
2年	正常構造と機能	(生理学実習)	2前	
3年	疾患総論	感染系	3前	3.5
3年	疾患総論	免疫系	3前	2.0
3年	疾患総論	環境因子系	3前	1.0
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)	3前	2.5
3年	疾患総論	病理総論系	3前	1.5
3年	疾患総論	病理各論系	3前・後	4.0
3年	疾患総論	分子病態系	3前	1.0
3年	疾患総論	腫瘍系	3前	1.0
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3後	1.5
3年	疾患各論	循環器系	3後	2.5
3年	疾患各論	呼吸器系	3後	2.0
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後	9.0
4年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	4前	1.0
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	2.5
4年	疾患各論	運動系	4前	1.5
4年	疾患各論	消化器系	4前	2.5
4年	疾患各論	腎泌尿器系	4前	1.5
4年	疾患各論	生殖系	4前	2.5
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.0
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.5
4年	疾患各論	皮膚系	4後	1.5
4年	疾患各論	精神系	4後	1.5
4年	疾患各論	小児系	4後	1.5
4年	疾患各論	感染症系	4後	2.0
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.5
4年	医学・医療と社会	社会医学系	4前・後	5.0
4年	診療の基本	診断学	4後	3.0
4年	診療の基本	放射線医学	4後	1.0
4年	診療の基本	臨床検査医学	4後	1.0
4年	診療の基本	外科治療学	4後	2.0
5年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	5前・後	0.5
5年	診療の基本	臨床薬理学	5前・後	0.5
5年	診療の基本	臨床総括講義	5前・後	8.5

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者カリキュラム					
開講年次	科目区分	科目	受講学期	新カリ単位数	
1年	医と社会	医と社会I	1前	2.5	4科目履修すると読替え
2年	医と社会	医と社会II	2後	2.0	
3年	医と社会	医と社会III	3前・後	2.5	
4年	医と社会	医と社会IV	4前	0.5	
1年	入門科目	人間生物学	1前	2.0	4単位に読替え
1年	学部モジュール科目	細胞生物学	1前	2.0	1単位に読替え
1年	学部モジュール科目	原爆医学概論	1前	2.0	0.5単位に読替え
1年	学部モジュール科目	医学は長崎から	1前	2.0	0.5単位に読替え
1年	学部モジュール科目	医学統計学	1後	2.0	1単位に読替え
					読替え科目なし
					読替え科目なし
1年	正常構造と機能	人体構造系 I	1後	2.0	3科目履修すると読替え
2年	正常構造と機能	人体構造系 II	2前	3.5	
4年	正常構造と機能	人体構造系III	4前	1.0	
1年	正常構造と機能	生体分子系	1前	3.0	2.5単位に読替え
1年	正常構造と機能	分子遺伝系	1後	2.0	
1年	正常構造と機能	神経・感覚器系I	1後	1.5	2科目履修すると読替え
2年	正常構造と機能	神経・感覚器系II	2後	0.5	
1年	正常構造と機能	発生・組織系I	1後	0.5	2科目履修すると読替え
2年	正常構造と機能	発生・組織系II	2前	2.5	
2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	2.5	
1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	1.0	2科目履修すると読替え
2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II	2前	2.5	
2年	正常構造と機能	(生理学実習)	2前		
2年	疾患総論	感染系	2後	3.5	
2年	疾患総論	免疫系	2後	2.0	
3年	疾患総論	環境因子系	3前	1.0	
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む) I	3前	2.5	3科目履修すると読替え
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む) II	3後		
4年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む) III	4前		
2年	疾患総論	病理総論系	2後	1.5	3科目履修すると読替え
3年	疾患総論	病理各論系 I	3前	4.0	
3年	疾患総論	病理各論系 II	3後		
4年	疾患総論	病理各論系 III	4前		
2年	疾患総論	基礎医学TBL	2後	1.0	
2年	疾患総論	腫瘍系	2後	1.0	
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3後	1.5	
3年	疾患各論	循環器系	3前	2.5	
3年	疾患各論	呼吸器系	3前	2.0	
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5	
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後	11.5	9単位に読替え
3年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	3後	1.0	
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	2.5	
4年	疾患各論	運動系	4前	1.5	
3年	疾患各論	消化器系	3前	2.5	
3年	疾患各論	腎泌尿器系	3後	1.5	
3年	疾患各論	生殖系	3後	2.5	
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.5	1単位に読替え
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.5	
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.5	
4年	疾患各論	精神系	4前	1.5	
3年	疾患各論	小児系	3後	1.5	
3年	疾患各論	感染症系	3前	2.0	
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.5	
4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5	5単位に読替え
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5	
4年	診療の基本	診断学	4後	3.0	
3年	診療の基本	放射線医学	3後	1.0	
4年	診療の基本	臨床検査医学	4後	1.0	
4年	診療の基本	外科治療学	4前	2.0	
4年	診療の基本	* 臨床疫学・医療情報学	4後	0.5	
4年	診療の基本	* 臨床薬理学	4後	0.5	
3年	診療の基本	* 臨床医学TBL I	3前	2.0	8.5単位に読替え
3年	診療の基本	* 臨床医学TBL II	3後	1.0	
4年	診療の基本	* 臨床医学TBL III	4前	1.0	
4年	診療の基本	* 東洋医学	4後	0.5	
4年	診療の基本	* 総合病理学	4後	1.0	
4年	診療の基本	* 臨床推論PBL	4後	3.0	
4年	臨床実習	* 臨床実習	4後		

※H27年度までに下記の3科目を未履修でかつ3, 4年次に「*」の科目を履修する機会がなかった者のみ適用する科目					
5年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	5前・後	0.5	3科目に読替え
5年	診療の基本	臨床薬理学	5前・後	0.5	
5年	診療の基本	臨床総括講義	5前・後	8.5	
5年	臨床実習	臨床実習	5前・後	42.0	42単位に読替え
6年	診療の基本	臨床総括講義(卒前集中講義)	6前		
6年	臨床実習	高次臨床実習	6前	18.0	
5年	臨床実習	臨床実習	5前・後	55.0	42単位に読替え
6年	診療の基本	臨床総括講義	6前	3.0	
6年	臨床実習	高次臨床実習II	6前	20.0	

※ の開講年次が変更になった科目については、新カリの開講年次において履修し、進級要件は、旧カリの開講年次の要件に含める。
 ※ の開講年次が変更になった科目については、新カリの開講年次において履修するが、進級要件には含めない。

平成24～27年度入学者の科目の読替え表

(平成28年度以降入学者カリキュラム1～2年次開講科目)

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者 カリキュラム					平成28(2016)年度以降入学者 カリキュラム					
開講 年次	科目区分	科目	受講 学期	単位数	開講 年次	科目区分	科目	受講 学期	単位数	
1年	医と社会	医と社会I	1前	2.5	1年	医と社会	医と社会I	1前・後	2.0	
2年	医と社会	医と社会II	2後	2.0	2年	医と社会	医と社会II	2前・後	2.0	
1年	入門科目	人間生物学(※)	1前	2.0	1年	学部モジュール科目	医科生物学入門	1前	1.0	2単位に読替え
1年	学部モジュール科目	細胞生物学	1前	2.0	1年	学部モジュール科目	医科生物学入門	1前	1.0	2単位に読替え
1年	学部モジュール科目	原爆医学概論	1前	2.0	1年	学部モジュール科目	医学史・原爆医学と長崎	1前	2.0	各2単位に読替え
1年	学部モジュール科目	医学は長崎から	1前	2.0						
1年	学部モジュール科目	医学統計学	1後	2.0	1年	学部モジュール科目	医学統計学	1後	2.0	
1年	正常構造と機能	人体構造系 I	1後	2.0	1年	正常構造と機能	人体構造系 I	1前・後	2.0	
2年	正常構造と機能	人体構造系 II	2前	3.5	2年	正常構造と機能	人体構造系 II	2前	3.5	
1年	正常構造と機能	生体分子系	1前	3.0	1年	正常構造と機能	生体分子系	1前・後	1.5	3単位に読替え
1年	正常構造と機能	分子遺伝系(※)	1後	2.0	2年	正常構造と機能	分子遺伝系	2後	2.0	
1年	正常構造と機能	神経・感覚器系I(※)	1後	1.5	2年	正常構造と機能	神経・感覚器系	2前	1.5	1科目履修で2科目に読替え
2年	正常構造と機能	神経・感覚器系II	2後	0.5						
1年	正常構造と機能	発生・組織系I	1後	0.5	1年	正常構造と機能	発生・組織系	1前・後	2.0	1科目履修で2科目に読替え
2年	正常構造と機能	発生・組織系II	2前	2.5						
2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	2.5	2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	1.5	2.5単位に読替え
1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	1.0	1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	3.5	
2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II(※)	2前	2.5	2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II	2前	0.5	
2年	疾患総論	感染系	2後	3.5	2年	疾患総論	感染系	2後	2.5	3.5単位に読替え
2年	疾患総論	免疫系	2後	2.0	2年	疾患総論	免疫系	2後	1.5	2単位に読替え
3年	疾患総論	環境因子系	3前	1.0	2年	疾患総論	環境因子系	2後	1.0	
2年	疾患総論	腫瘍系	2後	1.0	2年	疾患総論	腫瘍系	2後	0.5	1単位に読替え

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者

- ※ の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成24(2012)～平成27(2015)年度カリの開講年次の要件に含める。
- ※ の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成28(2016)年度カリの開講年次の要件に含める。なお、開講しない年度の再履修については成績評価のみを実施する。
- ※ 内臓機能・体液系II の未修得学生は平成28(2016)年度以降カリの内臓機能・体液系Iも再履修すること。

平成28(2016)年度編入学生

- ※ 朱書きの科目 については、平成28(2016)年度に別途補講・試験等を行う。

平成24～27年度入学者の科目の読替え表

(平成28年度以降入学者カリキュラム3～6年次開講科目)

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者 カリキュラム					平成28(2016)年度以降入学者 カリキュラム					
開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数	開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数	
3年	医と社会	医と社会Ⅲ	3前・後	2.5	3年	医と社会	医と社会Ⅲ	3前・後	2.0	2.5単位に読替え
4年	医と社会	医と社会Ⅳ	4前・後	0.5	4年	医と社会	医と社会Ⅳ	4前・後	1.0	0.5単位に読替え
4年	正常構造と機能	人体構造系Ⅲ	4前	1.0	4年	正常構造と機能	人体構造系Ⅲ	4前	0.5	1単位に読替え
2年	疾患総論	病理総論系	2後	1.5	3年	疾患総論	病理総論系	3前	1.0	1.5単位に読替え
2年	疾患総論	基礎医学TBL	2後	1.0	3年	疾患総論	基礎医学TBL	3前	1.5	1単位に読替え
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)Ⅰ	3前	2.5	3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)	3前	1.0	すべて履修することで 2.5単位に読替え
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)Ⅱ	3後		3年	疾患各論	(各科目の薬理系部分を履修)	3前・後		
4年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)Ⅲ	4前		4年	疾患各論	(各科目の薬理系部分を履修)	4前		
3年	疾患総論	病理各論系Ⅰ	3前	4.0	3年	疾患各論	(各科目の病理各論系部分を履修)	3前・後		すべて履修することで 4単位に読替え
3年	疾患総論	病理各論系Ⅱ	3後		4年	疾患各論	(各科目の病理各論系部分を履修)	4前		
4年	疾患総論	病理各論系Ⅲ	4前							
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3後	1.5	3年	疾患各論	血液・リンパ系	3前	1.5	
3年	疾患各論	循環器系	3前	2.5	3年	疾患各論	循環器系	3前	4.5	2.5単位に読替え
3年	疾患各論	呼吸器系	3前	2.0	3年	疾患各論	呼吸器系	3前	1.5	2単位に読替え
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5	3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5	
3年	疾患各論	消化器系	3前	2.5	3年	疾患各論	消化器系	3後	3.0	2.5単位に読替え
3年	疾患各論	感染症系	3前	2.0	3年	疾患各論	感染症系	3前	1.5	2単位に読替え
4年	疾患各論	運動系	4前	1.5	3年	疾患各論	運動系	3後	2.5	1.5単位に読替え
3年	疾患各論	腎泌尿器系	3後	1.5	3年	疾患各論	腎泌尿器系	3前	1.5	
3年	疾患各論	生殖系	3後	2.5	3年	疾患各論	生殖系	3後	3.5	2.5単位に読替え
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後・4前	11.5	3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後・4前	11.5	
3年	疾患各論	小児系	3後	1.5	4年	疾患各論	小児系	4前	1.0	1.5単位に読替え
3年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	3後	1.0	4年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	4前	1.5	1単位に読替え
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	2.5	4年	疾患各論	脳・神経系	4前	4.0	2.5単位に読替え
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.5	4年	疾患各論	視覚系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.5	4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.5	4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	疾患各論	精神系	4前	1.5	4年	疾患各論	精神系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.5	4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.0	1.5単位に読替え
4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5	4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5	
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5	4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5	2科目履修することで 1科目に読替え
					4年	医学・医療と社会	地域医療学	4前	0.5	
3年	診療の基本	放射線医学	3後	1.0	3年	診療の基本	放射線医学	3前	0.5	すべて履修することで 1科目に読替え
					3年	疾患各論	(各科目の放射線医学部分を履修)	3前・後		
					4年	疾患各論	(各科目の放射線医学部分を履修)	4前		
4年	診療の基本	臨床検査医学	4後	1.0	3年	診療の基本	臨床検査医学	3後	0.5	1単位に読替え
4年	診療の基本	診断学	4後	3.0	4年	診療の基本	診断学	4後	2.5	3単位に読替え
4年	診療の基本	外科治療学	4前	2.0	4年	診療の基本	外科治療学	4後	1.5	2単位に読替え
4年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	4後	0.5	4年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	4前	0.5	
4年	診療の基本	臨床薬理学	4後	0.5	4年	診療の基本	臨床薬理学	4前	0.5	
4年	診療の基本	東洋医学	4後	0.5	4年	診療の基本	東洋医学	4前	0.5	
4年	診療の基本	総合病理学	4後	1.0	4年	診療の基本	総合病理学	4前	0.5	1単位に読替え
3年	診療の基本	臨床医学TBLⅠ	3前	2.0	4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	2.0	1科目履修で4科目に 読替え
3年	診療の基本	臨床医学TBLⅡ	3後	1.0						
4年	診療の基本	臨床医学TBLⅢ	4前	1.0						
4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	3.0						
4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	55.0	4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	64.0	55単位に読替え
5年	臨床実習	高次臨床実習Ⅰ	5後	7.5	5年	臨床実習	高次臨床実習Ⅰ	5後	12.5	7.5単位に読替え
6年	診療の基本	臨床総括講義	6前	3.0	6年		卒業試験	6前・後		3単位に読替え
6年	臨床実習	高次臨床実習Ⅱ	6前	20.0	6年	臨床実習	高次臨床実習Ⅱ	6前	25.0	20単位に読替え

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者

※ の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成24(2012)～平成27(2015)年度カリの開講年次の要件に含める。

※ の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成28(2016)年度カリの開講年次の要件に含める。なお、開講しない年度の再履修については成績評価のみを実施する。

長崎大学ナンバリング・システムについて

長崎大学ナンバリング・システムとは、長崎大学で開講されているすべての授業科目（教養教育科目・学部専門科目・大学院専門科目等。旧カリキュラム科目は除く）に対し、授業内容・レベル等に応じて特定の記号や数字やナンバーを付与し、教育課程表やシラバスに記載することにより、体系的な教育プログラムの実現を目指す方法のことです。

1 長崎大学ナンバリング・システムの統一フォーマット

長崎大学の全授業科目には、以下のような統一した形式でナンバーが付されています：

AB	CD	1	234	5
学部等 コード	領域/プログ ラムコード	水準 コード	識別 コード	使用言語 コード

通常表示部分

表示例

専門教育科目 医と社会 GEFY 11111

【学部等コード】科目を提供する学部や研究科等を表す2文字の英文字です。医学科は「ME」で統一されています。

【領域/プログラムコード】科目を提供する学部等のカリキュラム体系上の大きな区分を表す2文字の英文字です。医学科は「ME」で統一されています。

【水準コード】科目の授業のレベルを示す1桁の数字です。数字と学年は必ずしも一致するものではありません。識別コードの詳細については表2を参照ください。

【識別コード】「領域/プログラムコード」で大きく区分された科目群を更に識別するための3桁の数字です。学部・研究科ごとに独自の規則で識別コードが付与されています。

【使用言語コード】その科目の授業中に使用される言語を表す1桁の数字です。表3を参照ください。

2 長崎大学ナンバリング・システムの特徴

識別コード

識別コードによって、授業科目の履修体系上でのおよその位置づけが一目で識別できます。

3 ナンバリング・システムの活用方法

記号や数字の意味することを理解した上で、便覧等に示された学部や研究科ごとの科目ナンバー付与規則を理解してください。慣れてくると、科目ナンバーを見るだけで、カリキュラム体系上どのような位置づけの科目であるか分かるようになります。

識別コードは、体系的に設計してありますので、科目選択や履修順序を判断する際に利用してください。

シラバスに履修の前提とする科目が科目ナンバーで記載されている場合があります。そのときは、NU-Webの検索機能でどのような科目であるか調べてください（平成27年10月以降使用可）。

専門的な学習を行うようになったら、科目ナンバーの学問分類からその科目の学問上の位置づけを把握することで、履修科目の体系に関する理解が更に深まります。

表 2

0 : 卒業要件外科目 (大学入学前に修得する内容の科目, リメディアル科目, 卒業要件外授業科目)	
1 : 学部専門科目 (入門的内容の科目), 教養教育科目 (語学上級科目, 高年次対象科目を除く)	学部科目
2 : 学部専門科目 (基礎的内容の科目), 教養教育科目 (語学上級, 高年次対象科目)	
3 : 学部専門科目 (発展的内容の科目), 教養教育科目 (高年次対象科目)	
4 : 学部専門科目 (卒業論文・卒業研究関連科目, 医・歯・薬5~6年科目)	

表 3

1 : 日本語で行う授業	6 : ドイツ語で行う授業
2 : 英語で行う授業	7 : フランス語で行う授業
3 : 日本語と英語のバイリンガル授業	8 : オランダ語で行う授業
4 : 中国語で行う授業	9 : 日本語と英語以外の外国語のバイリンガル授業
5 : 韓国語で行う授業	0 : (予備)

授業科目区分	科目名	ナンバリング
医と社会	医と社会Ⅰ	MEME21011
	医と社会Ⅱ	MEME21021
	医と社会Ⅲ	MEME31031
	医と社会Ⅳ	MEME31041
正常構造と機能	人体構造系Ⅰ	MEME23011
	人体構造系Ⅱ	MEME23021
	生体分子系	MEME23031
	分子遺伝系	MEME23041
	動物性機能系	MEME23071
	人体構造系Ⅲ	MEME33101
	神経・感覚器系	MEME23051
	発生・組織系	MEME23061
	内臓機能・体液系Ⅰ	MEME23131
内臓機能・体液系Ⅱ	MEME23161	
疾患総論	感染系	MEME24011
	免疫系	MEME24021
	放射線基礎医学	MEME24161
	薬理系	MEME34041
	病理総論系	MEME24051
	腫瘍系	MEME24101
	基礎医学TBL	MEME24111
疾患各論	血液・リンパ系	MEME35011
	循環器系	MEME35021
	呼吸器系	MEME35031
	内分泌・代謝・栄養系	MEME35041
	免疫・アレルギー疾患系	MEME35051
	脳・神経系	MEME35061
	皮膚系	MEME35071
	運動系	MEME35081
	消化器系	MEME35091
	腎泌尿器系	MEME35101
	生殖系	MEME35111
	視覚系	MEME35121
	耳鼻咽喉口腔系	MEME35131
	精神系	MEME35141
	小児系	MEME35151
	感染症系	MEME35161
医学・医療と社会	法医学系	MEME36011
	衛生学・分子疫学	MEME36031
	公衆衛生学	MEME36041
	地域医療学	MEME36051

授業科目区分	科目名	ナンバリング
診療の基本	診断学	MEME37011
	放射線医学	MEME37021
	臨床検査医学	MEME37031
	外科治療学	MEME37041
	臨床疫学・医療情報学	MEME37051
	臨床薬理学	MEME37061
	臨床総括講義	MEME47071
	東洋医学	MEME 3711
	総合病理学	MEME37121
	臨床推論PBL	MEME37131
臨床実習	臨床実習	MEME48011
	高次臨床実習Ⅰ	MEME48311
	高次臨床実習Ⅱ	MEME48321
基礎研究実習	リサーチセミナー	MEME39011
	プレリサーチセミナーⅠ	MEME29041
	プレリサーチセミナーⅡ	MEME29051
	プレリサーチセミナーⅢ	MEME39061
	アドバンストリサーチセミナーⅠ	MEME39071
	アドバンストリサーチセミナーⅡ	MEME39081
	アドバンストリサーチセミナーⅢ	MEME49091
アドバンストリサーチセミナーⅣ	MEME49101	
アドバンストリサーチセミナーⅤ	MEME49111	
医学総合セミナー	医学ゼミⅠ	MEME20011
	医学ゼミⅡ	MEME20021
	医学ゼミⅢ	MEME30031
	地域医療ゼミ	MEME20091
	熱帯医学ゼミ	MEME20251
	国際医療ゼミⅠ	MEME20261
医学英語	国際医療ゼミⅡ	MEME20271
	国際医療英語Ⅰ	MEME20172
	国際医療英語Ⅱ	MEME20182
	医学英語Ⅰ	MEME21512
	医学英語Ⅱ	MEME21522
	医学英語Ⅲ	MEME21532
	医学英語Ⅳ	MEME21542
学部モジュール	医科生物学入門	MEMC16081
	医学統計学	MEME16031
	医学史・原爆医学と長崎	MEME16061
	CommunicationSkillinEnglish	MEME16073

医学部医学科のディプロマポリシーにおける領域ごとの達成レベル

レベル(達成度)	卒後教育	Advanced	Applied	Basic			
I. 倫理観とプロフェッショナリズム	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部学生は卒業時に							
自らの健康管理にも努め、生涯にわたる学習意欲を有し、生命倫理・医療倫理を重んじ、豊かな人間性と社会的使命感に基づいた行動ができる。	診療の現場で医師としての態度・価値観・行動を実践できる	診療の現場で医師としての態度・価値観・行動を实践できる	医師としての態度・価値観をシミュレーションできる	技能・態度を示すことができる	知識を獲得している	経験する機会はあるが、単位認定には関係ない	経験する機会がない
II. 医学・医療に関する知識(ver.2.1)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部学生は卒業時に							
医学・医療の基本的知識を有し、総合的理解に基づいて課題を探求し、適切に問題解決できる。	実践の場で課題を探求し、適切に問題解決できる	実践の場で課題を探求し、解決への応用ができる	課題解決のための知識を示すことができる	課題解決の道筋を設定できる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	修得する機会がない
III. 医療の実践(ver.3.1)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部学生は卒業時に							
医師としての業務を遂行する専門職として必要な基本的診療能力(統合された知識、技能、態度・行動に基づく総合的能力)を有し、適切な診療計画を立てることができる。	診療の場で実践することができる	診療の一部として実践することができる	模擬診療を実施できる	基盤となるスキル・態度を示すことができる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	経験する機会がない
IV. コミュニケーション技能(ver.2.0)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部生は卒業時に							
人間理解に立った高い協調性のもとに医療の場において関わる全ての人のと良好な人間関係を構築できる。	診療の場で実践することができる	診療の一部として実践することができる	模擬診療を実施できる	基盤となるスキル・態度を示すことができる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	経験する機会がない
V. 地域医療・社会医学(ver.3.0)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部生は卒業時に							
医療行政・福祉・保健・医療経済への配慮の下、チームの一員として多職種と協働し、地域社会や国際社会へ貢献するための能力を身につけている。	地域医療のチームの一員として診療を実践できる	地域医療のチーム一員として診療の一部を実践できる	地域における課題の発見と計画立案ができる	基盤となるスキル・態度を示すことができる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	経験する機会がない
VI. 科学的探究	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部生は卒業時に							
医学研究の必要性を理解し、研究に参加すると共に、科学性及び医学的創造性に基づいた論理的思考や独創的発想ができる。	計画に沿って、自主的に研究に参加し、常に科学性および医学的創造性に基づいた論理的思考ができる	計画に沿って、一部自主的に参加できる	研究計画の立案、研究の見学、参加する	基盤となるスキル・態度を示すことができる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	経験する機会がない